

試聴会・訪問記掲載

オンラインオーディオショウ「Audio Renaissance Online」視聴報告 (2021.4.17) (HP 掲載)

1. はじめに

昨年 11 月に引き続き、逆木一氏の企画・主催によるオンラインオーディオショウ「Audio Renaissance Online」が開催されましたので視聴しました。

<https://kotonohanoana.com/archives/26438>



2. 展示会社等情報

- 記事の内容は上記サイトのとおりですが、ラインアップは、下記のとおりです。

[実施サイト] [YouTube チャンネル【Audio Renaissance】](#)

[タイムスケジュール]

4月17日(土)

10:00~10:30 PDN/ファンダメンタル/Nmode ①

10:30~11:00 PDN/ファンダメンタル/Nmode ②

11:00~11:30 株式会社ヤマハミュージックジャパン

11:30~12:00 完実電気株式会社

(12:00~13:00 昼休憩)

13:00~13:30 TOP WING Cybersound Group

13:30~14:00 ネットワークジャパン株式会社

14:00~14:30 メルコシンクレッツ株式会社 (DELA)

(14:30～14:40 休憩)

14:40～15:10 株式会社ジェネレックジャパン

15:10～15:40 SOULNOTE ①

15:40～16:10 SOULNOTE ②

3. 展示チェック経過

開始前から各社の予告編があり、プログラムどおり進行しました。



10:00～10:30 PDN／ファンダメンタル／Nmode ①

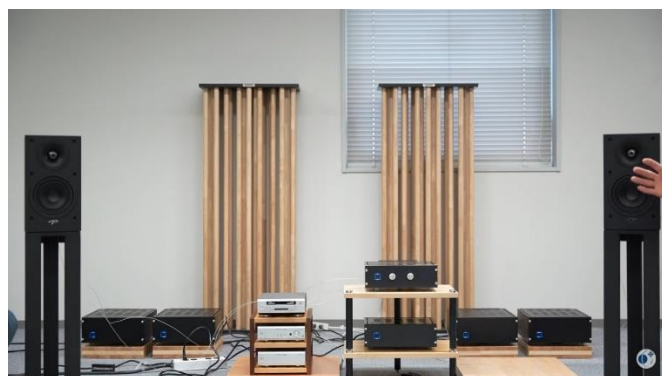
10:30～11:00 PDN／ファンダメンタル／Nmode ②

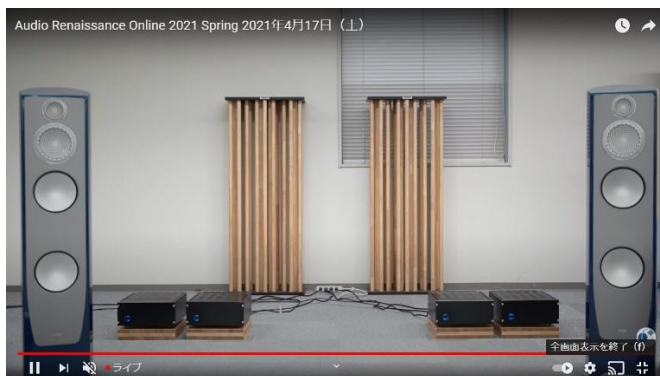
2 コマを使って、PDN のスピーカーをファンダメンタルと Nmode のシステムとの組み合わせ計 6 システムで再生するデモがありました。

モニターSE シリーズのコンパクトなスピーカーアトムと Nmode の組み合わせから始まりましたが、今風のクリアーな音で、さらに上級機種に進みました。

課題曲は、井筒香奈江とモーツアルトのアヴェ・ヴェルム・コルプスでしたが、どの組み合わせでも井筒香奈江とギターはクリアーでそれなりのパフォーマンスを示していましたが、モーツアルトは最上級のスピーカーとファンダメンタルとの組み合わせの駆動でもクラシックの生音を聴いている経験からすれば、物足りないものでした。

最後は、ファンダメンタルのバイアンプ駆動でギターが再生されましたが、さすがに押出の良い音でした。

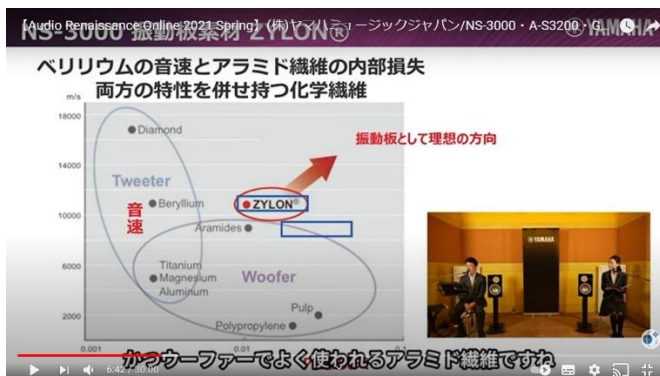




11:00～11:30 株式会社ヤマハミュージックジャパン

スピーカーは NS-3000、CD プレイヤーは CD-S3000、プリメインアンプ A-S3000、アナログプレイヤーGT-5000 の組み合わせでデモが行われました。ヤマハの設計コンセプトや各製品の紹介の後、アナログで課題曲の再生がありました。 NS-3000 のコーンには、伝達速度と内部損失の関係から高分子素材の ZYLON が使用されているとのことです。

アナログ再生の課題曲の井筒香奈江はソフトに、モーツアルトのアヴェ・ヴェルム・コルプスもチェロらしい音になっています。





11:30～12:00 完実電気株式会社

シルテックのケーブルの構造や材質の詳細な解説と Explore シリーズと Classic Anniversary シリーズでフランコセブリンのスピーカーを使用し、NAS に収納した課題曲の聴き比べがありました。上位の Classic Anniversary シリーズの方が、より滑らかな音になっています。





13:00~13:30 TOP WING Cybersound Group

iFi の新製品の ZENDAC Signature などの紹介がありました。さらに iPower Elite や Sonore の Optical Module Deluxe と Telos の USB ポートに接続する active earth の Macro G の紹介もありました。そして、これらを順次追加したときの音質変化のデモが、MacBook から Neo iDSD への送り出しで行われました。最後に Optical Module Deluxe を Sonore の LAN から USB に変換する機器を加えたデモがありました。

個々のユニットを加えると確かに音は変わりましたが、それでどうだというほどのことでもありませんでした。また、モーツァルトのアヴェ・ヴェルム・コルプスもチェロらしい音とは言えませんでした。



13:30~14:00 ネットワークジャパン株式会社

クアドラルのスピーカーTitan 9 の紹介とデモが PS オーディオの機器を使用して行

われました。井筒香奈江は、リボンツイーターの効いたソフトな音がしていました。モーツァルトのアヴェ・ヴェルム・コルプスはかなりチェロらしい音になっていました。



14:00～14:30 メルコシンクレッツ株式会社 (DELA)

音出しはなく、ソフトウェアの **update**、ミュージックサーバーの新製品情報、スイッチングハブや LAN と光の変換器、光ディスクなどの製品情報の紹介がありました。



14:40～15:10 株式会社ジェネレックジャパン

ジェネレックはモニター用のアクティブスピーカーを開発してきていますが、そのメリットは、ローレベルでのアクティブクロスオーバーが使えるということとスピーカーケーブルが最短化できることです。

G5 シリーズのデモから始まりましたが、サイズから予想されるより低音の量感もあ

りましたし、モーツアルトのアヴェ・ヴェルム・コルプスはかなりチェロらしい音になっていました。G1、G3、G5 の聴き比べがありましたが、感心したのは G1 で、サイズから予想されるより、高いクオリティの音が表示されていました。さらにサブウーファアの F1 と F2 の紹介があり、G3 に F2 を組み合わせたデモがありました。



15:10～15:40 SOULNOTE ①

15:40～16:10 SOULNOTE ②

2 コマを使って新製品などの紹介がありました。

前半では、スピーカーPMC、パワーアンプ A2×2 台、プリアンプ P3、CD プレイヤーS3 Ver.2、クロック X3 クロックを使用して、CD 再生で外部クロックの効果と NOS の効果のデモがありましたが、井筒香奈江はともかくとしても、モーツアルトでは外部クロックの効果と NOS の効果も大きな改善とは言えませんでした。

さらにファイル音源再生で DELA から S3 の USB 直結と LAN で HUB を介してネ

ットワークトランスポート Z3 経由の ZERO LINK で S3 に送り出しで、井筒香奈江の再生のデモがあり、ZERO LINK の効果が確認できました。最後に魔笛のフルートでも ZERO LINK の効果が確認できました。

後半では、これも新製品の ZERO LINK 対応の DAC である D3 で USB 直結と ZERO LINK のデモがあり、確かに ZERO LINK の効果が確認できました。

NAS からの USB 直結、Z3 から D3 への USB 経由、Z3 から D3 への ZERO LINK 経由の比較のデモもありましたが、ZERO LINK では、モーツァルトでもかなり改善されました。

A2 をプリメインアンプとして使用した場合と P3 経由の音の比較があり、P3 で鮮度が落ちていないというデモでした。

最後は再び ZERO LINK に戻り、パリエールの 2 台のチェロのためのソナタで締めくくられました。

DAC からクロックを受信し、そのクロックに同期したデータ信号を DAC に届ける究極の同期インターフェースである ZERO LINK に関しては、スフォルツァートのサイトその他に解説があり、同様の音質比較の音源も紹介されています。

<https://www.phileweb.com/news/audio/202012/18/22145.html>

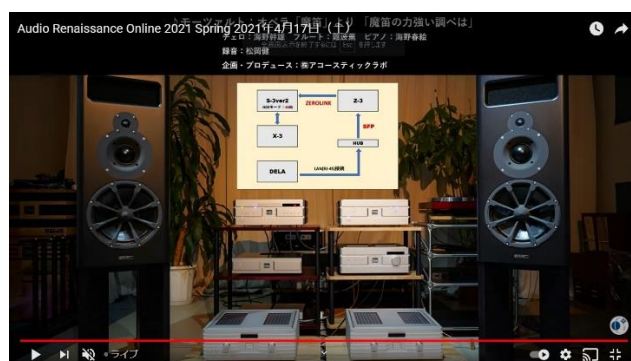
<http://www.sfz.co.jp/dst->

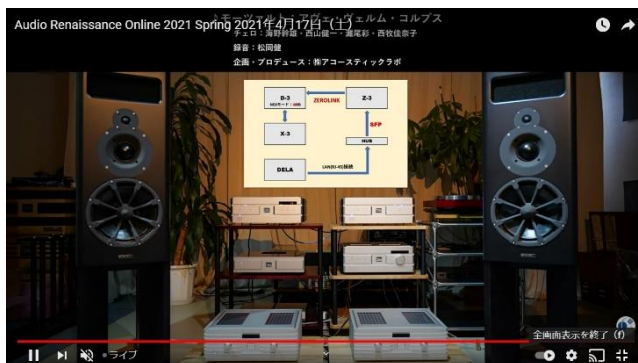
[lepus%EF%BC%88%E3%83%AC%E3%83%97%E3%82%B9%EF%BC%89](http://www.sfz.co.jp/dst-lepus%EF%BC%88%E3%83%AC%E3%83%97%E3%82%B9%EF%BC%89)

<https://kotonohanoana.com/archives/25511>

<https://weekly.ascii.jp/elem/000/004/034/4034887/2/>

https://www.kcsr.co.jp/sn_zerolink_sample.html?fbclid=IwAR0HVqdyVP2_-GYV2GRD_sTHjUZd6VzkG4q3NcBS_5QIdnRjfg09BBybu30





4. まとめ

昨年に引き続き、ジェネレックのアクティブスピーカーは小気味よい音を聴かせてくれました。ヤマハはダイレクトドライブの GT-2000 から慣性質量を重視したベルトドライブに回帰したことで滑らかな音を聴かせてくれました。SOULNOTE は技術指向でチャレンジ精神旺盛なメーカーですが、クラシック音楽再生に関しては必ずしも同調できないところがありましたが、今回の ZERO LINK 対応製品に関しては、かなり評価できると思います。

以上

以上